

## 第2回大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会議事録

日時 2018年11月2日 午後7時半から

場所 区役所5階 大会議室

委員：14名

傍聴者：5名

事務局：(教育委員会事務局総務部教育政策課西淀川区担当)

山本担当部長、横内担当課長、向井担当係長、若松  
(教育委員会事務局総務部学事課適正配置担当) 大川担当課長、松本担当係長  
(教育委員会事務局指導部初等教育担当) 亀川指導主事

事務局：本日は委員の皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

第2回大阪市立佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を始めたいと思います。

まず、本会については、議事録の作成のため事務局にて録音させていただいておりますので、ご了承ください。また、配付資料及び議事録については後日ホームページにて公表させていただきます。

傍聴に来ていただいた方々には、入場の際に要綱の写しをお渡ししております。そこにもありますように、会議開催中は静かに傍聴することとし、発言、拍手その他の方法により公然と意見を表明しないこと、並びに写真撮影、録画、録音等は行わないこと、と要綱に定められております。みなさまのご協力をお願いします。なお、佃西小学校PTA会長である五十嵐会長より、お仕事の都合により欠席とのご連絡をいただいております。おひとり欠席の中での協議会の開催となりましたこと、ご了承くださいますようお願いいたします。

まず、事務局の自己紹介をさせていただきます。

教育委員会事務局西淀川区担当教育部長兼副区長の山本です。担当課長の横内です。担当係長の向井です。

大阪市教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長の大川です。担当係長の松本です。西淀川区担当指導主事亀川です。

それでは第2回の開会にあたり、大阪市教育委員会事務局西淀川区担当教育次長である塩屋区長よりご挨拶を申し上げます。

塩屋：みなさん、こんばんは。公私ともにお忙しいところ、遅い時間にご出席いただきましてありがとうございます。第1回の協議会は、7月12日に佃西小学校で行いましたが、今回はこちらまでお越しいただき、ありがとうございます。第1回の協議会で、大事な子どもたちの良い教育環境をどうやって作ればいいだろう、という目的意識をみなさまと共有できたと思います。その際、いろいろと課題をご確認いただき、その後、こうすべきだ、というご意見をいただいて実施してきた経過があります。第2回では経過の報告を共有し、それぞれのお立場で「よりよい教育環境づくり」を考えていた

だいたかと思ひますし、そういったことを元に今回の会合を有意義なものにして、実質的に子どもたちのためになるようないい方向性をご検討いただけるようなものになればありがたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

事務局：それでは、これからの議事の進行は会長である平田会長にお願ひいたします。

平田：みなさん、こんばんは。それではこれから第2回大阪市立佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を開催します。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。本協議会については現時点で14名の参加となり、委員の過半数を超えていますので、協議会として成立しています。式次第にそつて進めてまいります。佃南小学校の現状等について事務局よりご説明願ひます。

横内：【資料1】佃南小学校の現状の資料をご覧ください。2018年7月時点では1年生から6年生まで92人という人数です。2018年11月時点で、合計87人となり、人数が減っています。今回、学校選択制により佃南小学校を選んだ新1年生は5人となっていますので、2019年5月見込では65人となります。2020年5月となると、28人のうち佃南を選ぶのが何人かはまだわからないんですが、45人プラス学校選択制により佃南小を選んだ人数、ということになってまいります。この状況で来年度となりますと、現1年生と現2年生を足して17人ですが、支援学級については法律上別途定めるといふことになっており、支援学級の児童を除く人数となるため、来年度で行くと、新2年生と新3年生で15人となるため、転入等がなければ原則複式学級になります。2019年度の佃南小を選んだ新1年生は5人でした。この後、保護者に変更希望があれば11月12日(月)～11月16日(金)の間に変更申請を受け付けます。12月下旬に就学通知書が交付され、就学校が確定することとなります。次に、もし2020年4月に南と西が統合すると、西はどうなるのかという目安を載せております。1年生から2年生が35人学級、3年生から6年生が40人学級となっておりますので、1年生から6年生まで4クラス、4クラス、3クラス、3クラス、3クラス、3クラス、となり全体で20クラス、582人となりそんなに大規模な数になる状況ではありません。先ほど、資料1の中で児童数をお伝えしましたが、世帯数もお伝えしておきます。松井校長先生、お願ひできますでしょうか。

松井：本校では現在10月30日段階で73世帯となっております。来年度は、27人のうち、24人が兄弟関係がございませんので、中学へ進学した時点でその分が減じますので、新1年生5人が確定したとして54世帯となっております。

平田：各課題の調整状況について事務局より説明願ひます。

横内：続きまして【資料2】をご覧ください。前回協議会でお示ししていた課題について説明いたします。通学路について、【別添1】をご覧ください。【別添1-1】【別添1-2】に現在の通学路を載せております。現在の通学路を元に、統合したらこんな通学路になるんじゃないか、【別添1】となります。佃通りにについては、北側道路一部に手すりがないところも、教育委員会とともに調査をしまして、工営所には写真を持って、危険な箇所があります、といふことで説明に行っております。交流事業について、過去、統合した学校の交流事業の事例について、説明させていただきます。

亀川：過去統廃合を行った学校の交流事業について、現梅南津守小学校、今宮小中一貫校、鶴町小学校、塩草立葉小学校の過去の交流事業として資料をあげております。内容について、大きく分けて3パターンあります。一つはスポーツ交流、2つ目は教科、主に生活科・総合の時間等ですが、教科の中の時間を使い交流を行います。1年生の生活科でしたら、「あきしらべ」で公園へ秋を調べに一緒に行く、「まちたんけん」で調べたことを発表する時間を交流の場として、お互いの発表を聞き合ったり、「ごみしらべ」も、お互い調べたことを発表する交流となっております。3つ目は、劇・音楽鑑賞等

を集まって一緒に鑑賞するなどの交流です。

形式についても3パターンあります。1つ目は全体で集まって交流する形、2つ目は日程をずらして各学年・特別支援学級ごとに交流を行う、3つ目は各学年・支援学級ごとの交流を行った後、あらためて全体の交流を行う、という形があります。

横内：そのうえで、【別添2-1】をご覧ください。統合することになった場合、子どもたちがスムーズに新しい環境になじめるように、学校間の交流を積み重ねていく必要があります。

詳細な検討は統合の方向性が見えてからとなりますが、全学年対象に10月芸術鑑賞会（佃西小講堂 低学年・高学年）が可能であろう、とのことです。学年ごとには保護者の参観を可としまして、1年「公園へ行こう」（新佃公園）、2年「まちたんけん」（校区探検）、3年「七輪体験学習」、4年「パッカー車体験学習」、5年体力テスト（佃西小 運動場・講堂）となっております。地域行事は、実際やられているものだと思いますが、3小スポーツ大会（ドッジボール）、佃地域運動会（町会ごとのチーム）、佃ウォークとなっております。こういった素案を小学校からいただいております。

引き続き、【別添3】をご覧ください。資料右下3階の生活科室、整備室、4階の児童会室、資料室とあります。当時、佃西小学校にたくさん児童がいた時にはここを普通教室に使っていたんですが、今は資材置き場となっております。ここを今回、普通教室に改修工事をする予定です。改修となりましたらエアコンの整備が必要になってくるかと思うのですが、そちらの整備状況を教育委員会より詳しくは教育委員会より説明させていただきます。

松本：エアコンの件ですが、現4年生は本来ならば2クラスのところ、校長の裁量により3クラスとしたため、児童会室だったところを教室に転用しました。そのため、空調のない部屋を使用することとなったため、クラスの配置上、現6年3組が空調のない教室を使用しています。現在は全部で16クラスあり、来年度は、全学年が15クラスの予定であり、6年3組のクラスは使用しないクラスになりますが、統合に向け他の教室改造を含めこの6年3組の空調工事もする空調予定としております。なお、来年12月（冬休み期間から）から2か月半かけて、他の教室改造も含めて着手する予定となっております。

横内：続きまして【別添4】をご覧ください。標準服と校章をお示ししております。写真の写り具合で標準服の色が違って見えますが、両校同じ色となっております。校章は真ん中に入っている文字が違ってきます。こちらの費用負担について、引き続き、教育委員会より説明させていただきます。

松本：全市的な方針として、統合にあたっては、保護者に過度の経済的な負担を与えないこととしており、学校設置協議会での議論の結果、保護者に買い替えの負担がないよう、教育委員会に必要な予算を措置のうえで用意することになります。

平田：できるだけ皆さんに負担をかけないように、というような説明もありました。もし統合となれば、校名を佃西小学校で行くの？というようなこともみなさんにお伺いしたいと思います。この件について横内さんから何か説明があればお願いします。

横内：後ほど、みなさんの意見を聞きながらそういったお話をさせていただこうかと思っておりますが、もともと佃西小学校から分かれて佃南小学校ができたのが、元に戻る、ということであれば、元のこの校名を使うというのが自然な流れかな、と思います。引き続き、この夏から両学校に設置しましたご意見箱に入ったご意見の紹介をさせていただきたいと思います。【別添5-1】となります。「佃西と佃南が合併するとのことですが、一クラス何人くらいになりますか？もし人数がたくさん増えるなら、高学年になって3クラスのままでいけますか？それとも2クラスですか？」というご質問です。

すでに回答させていただいたんですが、【別添 5-2】をご覧ください。「ご意見箱にお寄せいただきましたご質問について、回答いたします。現在、佃西小学校の2年生の児童数は74人（支援学級3人含む）、佃南小学校の2年生の児童数は12人（支援学級1人含む）となります。統合した場合、2年生の総数は86人（支援学級4人含む）となります。3年生以上については1学級は40人までとなっておりますので、今の児童数のまま統合したとすれば1クラス28人から29人の3クラスとなります。」となります。続きまして、【別添 5-3】です。こちらちょっと見にくいので【別添 5-4】に質問と回答をまとめておりますのでご覧ください。「【質問①】佃西小学校のプールが地震の影響で半分使えず、体育館も建て替えを検討中と聞いたので、1階に体育館、2階にプールという一体型の施設にしてほしい。津波等の災害時の対応も含めて。【回答】大阪市では、順次古い施設から建替えも含めて進めています。一体型の施設につきましては、必ずできるものではございませんが、ご要望としてお聞きさせていただきます。なお、体育館につきましては、平成8年に耐震診断を行い、耐震基準は満たしております。【質問②】佃西小は現在運動会が見るだけでも人が多くて大変とききます。運動会だけ佃南小グラウンドを使うなど、有効利用してはどうでしょうか？【回答】佃西小学校の運動会では、校舎の2階、3階、4階を開放しており、校舎から運動会を見学できるようにしています。また、第1コーナーに本部席を置き、シートを敷くことは禁止としており、保護者が児童を見やすいような配慮を行っています。また、佃西小学校には千舟地域から通学している児童もいることから、佃南小学校にて運動会を行うことは運動会時の通学距離の観点から難しいと考えられます。【質問③】現1～4年の授業で使っている個人の購入品を知りたい。佃西と佃南で違いがあれば、どれくらい追加購入が必要となるのか。【回答】個人で購入いただく品は①リコーダー、②鍵盤ハーモニカのふき口、③絵の具セット、④裁縫セット、⑤習字セット、⑥水着・帽子、⑦体操服、⑧お道具箱セットの8点となります。佃西小学校と佃南小学校で、購入するものに大きな違いは認められません。ただし、統合となった場合は、学校が学校運営上必要であれば購入をお願いすることはあると考えられます。」となっております。最後、昨日11月1日に入りました要望【別添 5-5】をご紹介します。「10月30日、西小学校の見学に行きました。《これはちょっと…と思った点》校門が坂になっていて危ない。校門を出たところの歩道は狭く、自転車や歩行者が多い。校門を出る前に歩道の状況がわからず、危険と感じました。校舎は主に土足のため、汚く感じた。1Fで履き替えさせてほしい。教室の前の下駄箱が統一されていない。木でできた古びた下駄箱はどうなんだろうと思いました。いきいきの教室が狭い。夏休みなど人数が多い場合は多目的室を使用しているみたいですが、上の階と下の階に分かれるのはどうなのかなあと思います。職員室前の外廊下は違和感を感じました。どしゃ降りや横殴りの雨の日は傘をさして通るのかなあ。全体的に暗く特に階段。保健室が陰気くさい。パッと見、保健室だとわからないところがある。廊下が狭い。あと、教室にいらした先生とお話した時、南小学校と合併すると教室が足らなくなるため、他のことで使っている教室を空けないといけなとおっしゃっていた。プールの工事や体育館の屋根の修復を行う話や、西小学校は古いので建て替えが必要など噂がありますが、ちょこちょこ修復するのであれば、建て替えてほしいです。佃小学校も人数が減ってきているし、将来を見据えて建て替えをお願いしたいです。」というようなご意見が入っております。教室の件は先ほど申し上げたような改修予定となっておりますが、できるだけご要望に沿えるところがあれば、協力してやっていけたらなあと考えております。しっかり回答ができましたら、ご本人様には回答いたしまして、この協議会で紹介できればと思っております。

平田：ご意見箱の意見も今説明があった通りです。学校の建て替えということは、すんなり行くかどうか

かはわかりませんが、意見を聞いていただいて、十分な対応をしていただければと思います。次に統合までの意思決定の手順について、事務局から説明をお願いします。

横内：【資料3】をご覧ください。佃南小学校の教育環境の改善のための【基本合意】というのは、統合の是非、統合の時期、統合先の学校及び学校名というところを一般的に基本合意と呼びます。そのあと、どのような流れになるかというところ、現保護者・新1年生保護者・広く区民に基本合意内容について広報を行い、統合にあたっての課題について、統合協議会において協議を行うこととなります。市会上程の1か月前には教育委員会議というところに統合について諮ることとなります。その後、統合のために1年ぐらいかけて整備をしますので、5月市会に学校設置条例改正案を上程し、統合について諮って議決していく、という手続きが必要となってきます。そして1年ぐらいかけてスムーズな統合にむけて様々な課題を解決する施策を実施したあと、年度初めの4月に統合、ということになります。基本合意後は、新1年生については「大阪市立小学校及び中学校における就学すべき学校の指定に関する規則」の第13条第10号が適用されます。12月下旬に就学校が決定した後も、希望すれば佃南小学校の新1年生は統合先の学校に就学校を変更することが可能となります。その場合、新1年生の兄・姉についても、統合先の学校に就学校を変更することが可能です。詳細については該当する世帯へ通知いたします。手続き的にはこういった流れになります。

平田：委員の皆様方、質問はありませんか？遠慮なしにおっしゃってください。そういった意見に基づいて進んでまいるといえるかとも思います。参考にもなるかとも思いますし、十分なお意見をお聞きしたいと思います。よろしくをお願いします。

丸尾：佃南小学校PTAの丸尾です。平成8年に耐震診断をして、とありますが、これ22年も前の耐震診断ですよ？22年も前の耐震診断に基づいて大丈夫です、とおっしゃっても、前回の地震で実際プールの壁は壊れていますよね。それって本当に安全です、と言えるんでしょうか？というのが、疑問です。私もいっしょに佃西小学校に見学に行っております。実際、防犯であったり、災害避難訓練であったり、佃西小学校が会場になることは多々あります。その中で高齢者の方が訓練をされて問題なく終わっているじゃないか。でも実際台風が来たり地震が来たりした時に、健康な方ばかりが避難されるわけではありませんよね？車いすの方、体の不自由な方が避難される中で、坂になっているというのはすごく気がかりでした。佃西小学校というのは佃の中心にあるところで、大勢の方が避難されてくると思うんですけど、地震や津波が来たとしても体育館は1Fなので避難する場所は校舎しかないですよね。そういう部分で、いっしょに行った者もそうなんですけど、これはそのまま進むのかと非常に疑問に思いました。私たちも本当に校舎が建て替わるなんて、なかなか現実的ではないと思っております。でも、学校選択制が始まって、佃小学校も来年実際新1年生が1クラスになるんですよ？それって私たちが経験したように、校区割で佃西小学校の前の家の子たちが佃小学校に通っていたところ、学校選択制が始まったら、保護者としては、通学が一番近くて安全な学校を選ぶ、というのが保護者の気持ちです。そう遠くない将来、学校選択制の導入で、佃小学校は2号線を渡ったところの人たちのための小学校になっていき、佃南小学校が特定の地域の為の小学校となったのと同じような経過を今後、たどっていくんじゃないのかなという懸念があります。その中でちょこちょこ修繕をするのではなく、古いな、気になるな、という箇所はたくさんありました。あがっているのはその一例です。だったら、もうちょっと方法ないのかな。私たちも私たちの子どもたちが行く頃に絶対にきれいに建て替わるなんて思っていないんですけど、これが議事録に残って、今後この佃の子どもたちがどんどん減っていて、どうなるの？前回この話協議したやん、という経過を私たちもやっ

ぱり残していったほしいなと思ってます。もう一点どうしても言いたくて気になっているのがいきいきです。いきいきの管轄は事業者がやっていると思うんですが、実際いきいき活動見に行きました。小学校1年生の子たちだけでいきいきの教室満杯です。いきいきの先生にも話を伺いました。そして今後もうちょっと増えたら廊下でやってもらうしかないかなというふうにおっしゃっていました。それくらい本当に子どもたち、1年生だけで満室だったんです。で、校舎を児童会室とか生活科室とか、いろんなところを普通教室に直します、そりゃやってもらったら嬉しいです。でも、いきいきの教室どうなるの？働く親が増えている中で、子どもたちが安全に安心して放課後を過ごしてほしい、トラブルができるだけないように楽しく過ごしてほしい、大阪市のホームページにもいきいきの概要がたくさん書いてありました。狙いとか。あの状態じゃ、難しいと思います。だったら、どうにか今回の統合で今佃西小学校に通っている子たちも、佃南小学校から行く子たちにもメリットがあるようにもう一度考えていただきたいと思いました。

内田：佃西小学校に見学に行きまして、参観日の日だったので、大勢の方がいらっしゃって、いろんな佃西の保護者の方にもお話をお伺いしたりしたんですけど、校舎の中をのぞいて思ったことは、佃南小学校は各教室1枚だけすりガラスじゃないところがあるんですね。でも、佃西小学校のガラスは全部すりガラスなんですね。佃西小学校の保護者の方はどういう感じで思っているかわかりませんが、参観日の日はすべての窓が開いて開放的なところで見ていただく形になっていると思いますが、普段はもちろん扉も窓も閉じてしまっていると思うんですね。そうすると、中で何をやっているのかが見えない。で、佃南小学校は一つだけ透明なガラスがあるんですね。廊下からちょっと中をうかがえる、というようなことになっております。今大阪市の公立小中学校、保護者はいつでも見学に行っている、ということになっていると思います。子どもに何か様子の変なことがあったり、気になることがあれば、別に参観とかそういうことは関係なく、自分の子どもの学校の教室を覗きに行く、ということができる、ということになっていると思うんですけども、実際、今の佃西小学校の状況であれば、ガラガラガラと入って中に入るしか、中の状況を見ることができないんですね。そこまですると、逆に子どもたちの目に触れますし、そうっと覗きに行くことができる、という環境をつくっていただければ、と思います。今佃南小学校で活動しておりますし、学校に行ったときに、こそっとうちの子何してるのかな、何の科目してるのかな、今日欠席の子いるのかな、うちのクラス、と覗くことができるような環境に今佃南小学校はあります。でも、佃西小学校はありません。開放された、いつでも保護者が気軽に学校に行っても子どものことが見れるような状況をつくっていただくためにも、ガラスを一枚透明にというんじゃないですけど、中の様子が見えるような形で施設を考えていただきたいなと思いました。

菅野：窓ガラスを透明にする、というのは決まっているんですかね？学校は。統一されていないみたいですけど。校長先生

北山：透明にした方がいい、とは思いますが、更衣室にも使っておりますので、そういう関係でどうしても見られたらいやや、ということでそうなっているところもありますが、改善していきたいと思えます。

塩屋：おっしゃったように、佃西小学校の保護者の方も同じように見ればいいな、ということもありますし、これを機会にそういったお気づきも佃西小学校の保護者の方にもあったかもしれませんし、今後できるだけ子どもたちが集まる学校をいい環境にしていく、ということはそれ以外にもあるかもしれませんから、一つ一つご意見を頂戴しながら、少しずつできる範囲でやっていく、ということ

が大切だと思いますので、そういった意味でご理解いただければなと思います。あと、防災のことは地域として防災をどう考えていくのかということを整理をして考えていくべきではないかな、と思います。児童が通う際の坂道の点については何らかの形で手を差し伸べながら支障がないような形で考えていかないといけないとは思いますが、災害避難するときの坂道が、といった防災のことどう考えていくのかということについては、また次の問題として考えていければと思っております。

横内：僕も行ってきついな、と思ったことはあるんですが、災害時になれば大きな門も小さい門も開いて。ちょっと車いすは経験したことがないので、実際行ってみてやってみたいと思います。

塩屋：津波が来た場合は、高いところに避難する。津波が来ないとなってから避難所に行くことになるかと思うんですが、これは11月18日の一斉避難訓練で改めて徹底したいと思います。頂いた課題の中で一つ気になっているのは、いきいきのスペースです。事業者の発言に関してはこども青少年局を通じてちゃんと答えてくれよ、と申し伝えたいと思いますが、いきいきのニーズも高まっていると思いますので、スペースについてはきちっと詰めていく必要があるのかもしれないなと思います。

大川：正確な返事は施設担当に確認させていただきますが、今現在の法令に基づく耐震基準は市内全域すべて満たしています。先ほどのブロック塀の問題は教育委員会でも問題視しておりまして、今回の地震により全市すべて再調査いたしました。ブロック塀以外のものも可能性としてあるのかないのか、施設担当に確認して改めて回答させていただきます。耐震基準も平成7年の阪神淡路大震災の後に基準が改正されてそのあとの基準で適合している、と言っていたはずなので、そのあたりも確認してお返事させていただきます。

平田：どなたか質問ありませんか？

富高：個人購入品ですが、佃西は給食着を個人購入しています。佃南小学校さんは学校所有のもの、ということなんですが、ちょっとそれはやっぱり個人持ちにさせていただきたいと思っています。それも費用がかかるんですが。各家庭によって洗濯方法いろいろあると思うし、人のを借りるのは嫌だ、というのもあると思いますし、佃西小学校として交代で、というのもなかなか…。汚れたら次の日洗ってまたもっていく、という形もとってますので。

松井：給食着はうちがなくなるときに、西に行く子どもたちには持参をさせていただきます。本校は不要になりますので。

富高：それで数は足りませんか？

松井：枚数は十分足りております。

塩屋：予備の分も持ってきていただいたら、なかなかそういうものが準備できない家庭の児童も使えるかもしれませんね。

平田：ほかないですか？

阿南：見守り隊で立っているんですが、通学路に関して、学校が統合されるまでに検討チームで検討して、統合されてから施行する、とそういう意味に私は取ったんですけども、できるだけ早く、統合してから一気にやるのではなく、やはり前もってこうなっていくですよ、と子どもたちに説明をしていただきたい。今子どもたちを見てますと、狭いんですね。4丁目・5丁目の交通事情と3丁目の交通事情と、全然違うんです。4丁目の場合、大型トレーラーがローソンのところからどんどん入ります。そういう意味も含めて、子どもの9割以上は裏道へ行きます。バス通りはほとんど通りません。バス通りより神崎川寄り子どもたちはまた裏の道を行きます。通学路にすると、今は保育所もあります。通勤者の数も多いです。工業地帯に近いですからね。いろんな問題があるんですけども、とり

あえず通学路を徐々に早め早めに手を打っていただいて。今日から施行します、ではとてもじゃないけどダメだと思います。

塩屋：通学路の図をお示ししていますが、会長みたいに毎朝見守りしていただいている方のご意見、状況を伺いながら固めていって、早めにそれをやってみる、というのが重要かもしれませんね。

横内：通学路の危険箇所というのは、地震も受けまして、各学校から民間のブロック塀も含めてすでに報告は上がっています。南から西までの北側の道路の柵のないところなんかはすでに工営所長に説明に行ったりもしてまして、御懸念のとおり、1年以上かけて前広にやっぴかなあかんところもありますので、すぐに動けるような態勢には今あるのかな、と思っています。来年の春には通学路安全プログラムで各学校見て回るんですが、ぜひ佃を優先的に…

塩屋：見守りの会長さん方とか、地域の一番よくわかっていらっしゃる方々にぜひ参加いただいたらいいですよ。

阿南：3丁目の境、4丁目の境で交通量が全然違います。大型車は3丁目から向こうはほとんど通らないと思います。中央道を横切って中入っていく、というね。そこ今まで事故がなかったのは不思議なぐらいでね。通学路じゃないところで事故があったら大変なことになると思うんですよ。通学路でもそういうことがないように、きっちりと決めていただいて、できるだけ早く子どもたちに流れとね、統合といっしょに、同じように行けるような感じにやっぴいただければな、と思って

塩屋：ご指摘の通り、万全を尽くさなければならぬと思います。基本的な重要な点だと思います。

阿南：最終的には子どもの安全が第1なんでね、そこら辺りは考えていただいて。

塩屋：ぜひまたご助言や案など、ご意見をお聞かせいただきたいと思います。

丸尾：通学路についてもう1点。私の住む地域から、子どもが通学路を使うとき、今、無人の市営住宅の横を通ってバス通りに出ます。その今、誰も住んでいない市営住宅の道路には有人の駐車車両が止まっています。トラックであったり、車であったり。それもほぼ男性。登下校に通る子どもたちはその道は、行き帰り怖いから走って帰るんですよ。もし子どもがパッと引き込まれてしまったら、それが一番怖いです。一本向こうには会社があります。大型トラックが頻繁に通るのでそちらも危険です。子どもの帰る時間帯に見回っていただくとか、警察が駐車車両をどかしていただく、とかしないと、あそこを通る子どもたちはみんなトラックの横とか車の横をいったん車道にでて走って帰ってります。そういう部分でもうちょっと気をつけていただきたいなという思いがあります。

阿南：私も一時期、見守り隊として朝立って、帰る時にも立ったんです。1・2年は2時半ごろ通るんですよ。そうすると高学年が帰るまで時間があくんですよ。あと高学年が帰ってくるまで2時間ほどかかる。その間にいったん家に帰ると出にくくなったりしてできてないんですけども。会社があつて、車の駐車が多い、というのは警察に取り締まっただく以外に方法はないと思うんです。私もここは通行止めです、ダメです、って企業の車には言うんですけど、なかなか言うことを聞いてもらえませんで。警察に交通事情を見てもらって。警察の言うことは聞くと思うんで、我々がなんぼ頼んでも難しい。私の家の前は本当に車が多いんです。ここはダメだ！といっても、逆切れしてくる運転手もいますし、だから親の会社に行って頼むんですけど。それをしてもなかなかここ3~4年ほとんど変わらないので。

横内：ありがとうございます。また警察といっしょにします。通学路プログラムに警察ははいってますんで。貴重な意見で…

塩屋：これは現状、現時点での課題ですよ、統合云々というのではなく。



丸尾：そうです。ただ、佃西に行ったとしても同じ道を通るので。

塩屋：じゃあまあ、そういったことも含めて確認させていただきます。

阿南：我々が立てたらいいんですけどね…。

丸尾：そんなこと言ってないんです、取り締まってほしいんです。

平田：たくさんご意見も出てきております。今後の具体的な手続きに移りたいと思っております。課題にありました通学路、交流の問題、校舎の改修とか、いろんな課題が出てきております。学校の修繕とか建替えとかそういったものはこの区役所の考えだけでは成りませんので、教育委員会さん、後ろでよく聞いていただきまして、議員の先生も来ていただいております。そういう形の中で、新しく統合になりそうな、というところですので、十分な理解をしていただいて、進めていただければありがたいと思っております。いずれにしましても、時間を要する問題が多々あったかと思えます。交流にしる、通学路にしる、区長もおっしゃっていただいていたように、警察などにも相談をし、駐車違反のところに車を止めているのは違反ですので、車を除けていただくというようなこともしていただければと思います。2020年4月に統合するということを目標とした場合、新1年生、特に佃南小学校を選択した新1年生に早くお知らせをし、お示しをするためにも、今年度中に基本合意を決めた方が、児童のためになる良いのではないかと思っております。皆さん方、今回の重要なお話ですので、どうかご理解していただいて、2020年の4月の統合に向かって、佃南小学校と佃西小学校が統合して、校名を佃西小学校とするのか、ということについて合意をいただけるような形に進めればありがたいなと思っております。重要な決定ですので、みなさん、それぞれの代表としてご意見を言っていただいたことと思っております。今後のことについて、なお一層ご意見がありましたら、おっしゃっていただいて、そのあと区役所の横内さんに回答していただきたいと思っております。

横内：この間、アンケートボックスとかいろんな方にお話をお伺いしてきましたが、いい環境にするというのは時間がかかります。会長がおっしゃっていただいたように、12月中に目標年度と、西に行く、ということを決めていただいていた方が、しっかり準備ができると思いますので。改めて決を採る前に皆さんの意見をお伺いしたいということでおっしゃっていただいておりますので、ご意見をよろしくお願いいたします。

平田：どちらにしましても、後々会合もしていきますが、今日で大体の筋道を立てていただいて、それに向かって進んでいくということにしていきたいなと思っております。先ほどお話しましたように、子どもたちのために、なるということなので、いついつまでも引っ張って引っ張って、とどのつまり、こうなったんや、ということでは子どもたちがかわいそうな思いをしますので、良ければ、今日は最終的に、決裁を、皆さんのご意見を聞いて締めたいな、と思っておりますので、よろしく申し上げます。

要綱の規定により、議決は出席者の委員のうち、学校長及び区担当教育次長を除く委員の過半数をもって決することとなっております。出席している議決権をもつ委員が11名、のうち半数が賛成ということになれば今まで説明したとおりのような形で進んでいくということになるかなと思っております。同じ人数になった時には私が最終的に決めることとなりますので、区長さん、校長先生、横内さんはなしで、私もぬいて、菅野さん入れて10名で、今まで説明したとおりの、統合せなあかんのちゃうんかなあ、と思われる、しゃあないとちゃうんかなあというかそうやなと思われる方、手を挙げてください。【10名挙手】ありがとうございます。私を入れたら全員となりますので、そういった形で、2020年4月に佃南小学校を佃西小学校に統合して、校名も佃西小学校にするということを中心に合意をしていただいたということでもよろしいですか？ 校名も。よろしいですか？佃西小学校の子どもた

ちがたくさんいてはりますんで、できたらそういう形で進めさせていただく、ということで。よろしいですか？ はい、ありがとうございます。ではそういうことで。

阿南：平成2年に南が開校しました。457名くらいでスタートしたんですよ。閉校になるのが開校30周年、ということになってしまった。決して統合に賛成というわけではないんです。現状を見ていただいて、子どもがこれだけ少なくなれば、学校としての体をなさないという状態なんで。傍聴に来ていただいている方もご理解いただいて。ここにいる者は決して統合に賛成ではないんです、私も残せるものなら残したいんですけど。そういう意味もあって、最後に言わせていただきました。

平田：ありがとうございます。佃南小学校の卒業生はたくさんおられます。母校を思う気持ちはずっとあると思います。なお一層、佃西小学校に行った子どもたちもそれを誇りに思っていていただいたらいいのかな、と思います。

横内：どうもありがとうございます。改めまして、議決権のある委員11名の満場一致で賛成をいただきました。本日の合意事項の確認なんですけど、2020年4月に佃南小学校を佃西小学校に統合し、校名を佃西小学校にする、ということの基本合意とさせていただきます。スケジュールでございますが、委員の方から佃南小学校の保護者向け説明会の要望がございましたので、今回のお話の内容であるとか、出たお話、経過や基本合意の内容を説明する会を開催させていただきます。また、各課題の解決に向けた課題PTに今後の段取りを説明しまして、気にしていらっしゃる方がこの方以外にいらっしゃると思いますので、広報紙に載せたり、各関係者に本日の内容をお伝えするということをさせていただきますたいと思います。

平田：以上をもちまして、第2回佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を終了させていただきたいと思います。なお、各問題まだまだあろうかと思えます。PTのみなさまへは事務局から、また、合同統合協議会の開催については私から通知をさせていただきますたいと思います。では、これで終了させていただきます。ありがとうございました。